

西小倉めぐみ教会通信

発行者
日本キリスト教団
西小倉めぐみ教会
〒611-0042
京都府宇治市小倉町西浦33-36
Tel&FAX 0774-20-3071
<http://www.n-megumi.com/>

コミュニティと教会

～ほっとハウスと「おやすみ」と今～

1992年4月にほっとハウスを立ち上げた時、私は自分の精神疾患の経験から、人の癒しには医療だけではない普段に自由に集える「いい場」が、まず大切だと考えていました。一昨年、これまでになくうつ状態に陥り、後輩に所長職を譲りました。その直後、不思議の招きをいただいて牧師となり、西小倉めぐみ教会で、前任の倉橋剛牧師が始められた不

登校・ひきこもりの若者のフリースペース「おやすみ」にも関わらせていただくようになりました。そうしたなかで、今日においての教会の役割とは何か、ということのをあらためて考える機会をいただきました。

私は、精神障害にしても、不登校・ひきこもりについても、『～ができない』『～が苦手』『～の問題がある』といった理解だけにとどめることは止めるべきではないかと考えています。何かが出来ること・効率や機能を前提とする人間関係ではなく無条件に命をいとおしんで見守る居場所を作ってゆくことこそが、この時代に大切だと云うことを、私はこの2年間で「おやすみ」の若者たちから教えてもらったと強く感じています。ほっとハウスも「おやすみ」も、「傍らにあって、そっと見守る」という、本来は、かつての家族や教会が担っていた役割を、とても大切にしていると思います。経験的にも、人間が自分の個性を存分に発揮して生きてゆくためには、無条件に自分が安息できる居場所・コミュニティが大事であったと感じます。それは誰かによる意図的な集団であっては成り立たない、ちょうどイエスさまが喩えて示された「成長する種」(マルコ4:26～28)のように、互いの祈りのなかで自然に醸成され成長するコミュニティであったと思います。

教会はいま、どこに学ばばよいでしょうか。今年から教会も使用されているほっとハウスと、教会の取り組みとしての「おやすみ」との関わりのなかで、教会というコミュニティをこそ必要とする人に門戸を開いてそこに学びながら、私たち西小倉めぐみ教会はこれからも歩んでまいりたいと願っております。感謝。

棚谷直巳



10月16日学習会「ほっとハウスの仕事」～精神障害者が必要とする介護とケースワークとは～と題し、丸一俊介所長を講師に交流しました。

4月からほっとハウスは、臨床美術やアサーショントレーニング(自己の尊厳の回復と主張)や教会カフェなどもされています。「おやすみ」の若者もそのプログラムに参加したり、生活相談支援を受けるなどの連携をするようになりました。

ほっとハウスの皆さんによる礼拝室のクリスマス飾り



< 原発被ばくから子どもたちを守ろう! 「小さき声のカノン」 自主上映会と対談 >

2016年11月26・27日

当教会、伏見教会を含めた16団体・教会の共催による実行委員会形式で、映画「小さき声のカノン」の自主上映会を伏見教会で開きました。

この映画で取り上げられている「保養キャンプ」とは？ 原発被災地の子どもたちが一定期間遠く離れた安全な地で「保養」するもの。映画を見ると「保養」の初期と終期では体内の放射線量が激減していることに驚かされます。「保養」によって心身共に健康を取り戻していることがわかります。1986年のチェルノブイリ原発事故に近接するベラルーシでは、「保養」に予算が付けられているそうです。

26日の上映会の後は、東日本大震災の翌年から毎年、福島県の子どもたちとその家族の方々を「おこしやすキャンプ」に迎えておられる実行委員の中澤千香さんと木口裕香さん、原発問題の専門家でフリージャーナリストの守田敏也さんに当教会の棚谷牧師も加えて、対談と交流の場をもちました。最初は手探りで福島県飯舘村の被災者の方々に参加の声かけをすることから始まったキャンプの取り組み。今では各地の保養キャンプに、被災地からの参加希望が増加している一方で、ベラルーシのような予算措置もなく、世間的には風化しがちで、運営はかなり厳しいとのこと。健康被害は年数が経つほど進んでいくのに国が帰還政策を進めていくことへの疑問、風評被害批判を恐れず危険を訴えていくことの大切さ、東北のみならず関東も危険であること……等々話は広がり、時代に「小さくされた人」たちに学び人権を守ることの大切さを共有しました。



< [学習会] ひきこもり当事者から ～その時 本当に必要だったこと～ >

2016年7月24日

ひきこもり当事者、親、支援者、その他それぞれの立場の方18人の参加のもと、忌憚のない意見の交流の場となりました。

この日の講師の武内翔さん（ほっとハウススタッフ・社会福祉士）は、ひきこもり当事者から支援者となった方で、自ら調べて精神科の門をたたき、就労体験を経て、ひきこもりの若者をサポートする仕事に就かれました。決してまっすぐではなかった体験談からは「門をたたけ



ば開かれる」ことを感じました。

意見交換の中では、ひきこもることを否定しないこと、そこに寄り添う居場所があることの意義、具体的支援を必要とするタイミング……等々、考えを深め合いました。

＜[学習会] 向島 ^{あいりんかん} 愛隣館の取り組み ～地域が必要とした「介護」とは～＞

2016年9月25日

この日は、当教会員で、愛隣デイサービスセンター主任の田中仰さんを講師に、19人の参加のもと、学習会をもちました。

社会福祉法人イエス団を構成する施設の1つである愛隣館では、1990年代から、デイサービスセンターの他、重症心身障がい者通所事業「シサム」や障がい児・者ホームヘルプ事業「ゆうりん」、障がい者地域生活支援事業「あいりん」など、事業を広げてきました。それは、イエス団のミッションステートメントの1つである「いのちが大切にされる社会をつくりだす」実践の現れです。

例えば、吸引の必要な人の対応を要する際、「それは医療行為に当たるのでできません」ではなく、何とかできる体制を作り出し、やがては制度が後から可能になっていきました。そうやって、制度のすき間を埋めることによって、社会を変えていった取り組みが多く語られました。

愛隣館では、職員さんもいろいろなハンディがある中、互いにフォローしながら働いておられるとのこと。田中さんも助け、助けられながら働き、「自分たちのやっていることは特別じゃない。」と。社会全体が、特別じゃなく当たりまえに生活ができる世の中になることを願うものです。



＜ ^{シュウシャンシャン} 徐 珊 珊 伝道師を迎えて ＞ 2016年7月31日



この日は、今春宇治教会伝道師に就任された徐珊珊師を迎えて、宣教のご奉仕をいただき、礼拝後の愛餐会も含め、豊かな交わりの時をもつことができました。

中国・北京に生まれ育ち、日本に来て初めてクリスチャンになり、神学を学び、伝道師になられた徐珊珊師。現在も「宗教ビザ」がとれないため、一般就労を続けながらの伝道師の務めに苦労されています。当教会としても、連帯、応援していきたく思います。

「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を賛美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年、多芸正之牧師による創立以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

2005年から倉橋剛牧師を迎えた後も、その基本姿勢を継承し、不登校・ひきこもりがちな青少年の居場所「おやすみ」や、年齢制限のない居場所「のんびり」、地域の方々と歌を通じて交流する「歌ごえ」など、ささやかながら取り組みを続けてきました。倉橋牧師任期中の2014年8月には「宗教法人日本基督教団西小倉めぐみ教会」を設立し、今後永く教会のはたらきを続ける基盤ができました。

そして2015年4月には、新たに棚谷直巳牧師を迎えました。精神しょうがい者の支援施設で長く働いてきた棚谷牧師を中心に、これまでの同教会のはたらきをさらに継承・発展させていこうとするところです。

同教会では、教会に集う人たちが自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、牧師の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、併せて教会の支出の見直しを重ねながら、牧師家庭の生活を支えてきました。これからも厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続け、その社会的はたらきをより広く知っていただくための発信を続けたいと思います。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2016年 12月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄
(かがわ子ども・子育て支援センター館長)

今までに御献金いただいた方のお名前（敬称略・順不同）2016.1.1~11.30

足立こずえ 安達美千子 宇治教会 宇治大久保伝道所 大泉教会 大江野の花教会 鴨東教会
大野教会 交野教会 亀戸教会 川上幹太 川上信 君村千代子 京都教会 京都教区京都南部地区
京都九太町教会 京北教会 草津教会 倉敷教会 倉敷水島教会 神戸栄光教会 宿河原教会 首里教会
杉山敏子 膳所教会 草加教会 醍醐教会 高の原教会 竹内富久恵 丹波新生教会 千葉教会
田園江田教会 田園調布教会 東京山手教会（小野国三） 同志社教会 土佐教会
中標津伝道所 野方町教会 能勢口教会 原宿教会 ひばりが丘教会 伏見教会
伏見東教会 前川裕 松山教会 水口教会 むさし小山教会 紫野教会
八幡ぶどうの木教会 洛西教会 洛陽教会 岩城澄子 倉橋 剛・容子 小曽根一枝 柴垣孔明
杉本節子 田中 晁・千栄 西本 愛 橋本 博 門戸幸子 棚谷直巳・李清美 (143件 計768,100円)

振り込み口座番号(ゆうちょ)・・・00970-2-79224 (加入者名 西小倉めぐみ教会を支える会)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信を掲載しています。是非一度ご覧ください。
アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしくお願ひします。